

環境放射線モニタリング詳細調査（伊達市）計画

平成24年1月17日
原子力災害現地対策本部（住民支援班、放射線班）
福島県災害対策本部（原子力班）

1 目的

「事故発生後1年間の積算線量が20mSvを越えると推定される特定の地点への対応について（平成23年6月12日付け 原子力災害対策本部）」において、特定避難勧奨地点の設定後も、モニタリングを定期的を実施するとしていることから、前回、調査対象となった宅地等の環境モニタリング調査を実施する。

2 詳細調査の調査対象及び調査方法

7月27～29日及び8月14～16日、23日に実施した環境放射線モニタリング詳細調査（伊達市）で測定した、伊達市内の次の地域内の宅地等を調査対象とする。

No.	地区名	調査地点数	備考（前回調査結果、高さ1m）
1	小国地区	429	0.36～3.9 μ Sv/h
2	石田地区	51	0.63～3.7 μ Sv/h
3	相葭地区	11	1.1～4.0 μ Sv/h
4	富沢地区	349	0.54～3.0 μ Sv/h
5	高成田地区	103	0.58～2.2 μ Sv/h
6	柱田地区	42	0.74～2.2 μ Sv/h
	合計	985	0.36～4.0 μ Sv/h

3 調査日時

平成24年1月18日（水）～26日（木） ※ 雨天順延

○小国地区 1月18日（水）～22日（日）

○石田・相葭地区 1月22日（日）

○富成地区 1月22日（日）～26日（木）

4 調査の実施体制

電気事業連合会により構成される10班（30名）を編成し、1班あたり約10地点/日により空間線量率を測定する。

5 測定方法

調査協力が得られる宅地等（庭・玄関先）において、地表面から高さ50cm及び1mの空間線量率を測定する。